

## 特集

# 認知症の当事者研究のために 老年看護学の視座を拓く

関心の一層高まる当事者研究。いま、さまざまな領域にも広がりを見せています。本特集では「認知症」に光を当て、多領域にわたるさまざまな実践から、認知症の当事者研究をどう捉えるのか、看護研究において当事者研究をどう位置づけていくのか、考えます。

---

**なぜ、認知症の当事者研究なのか**  
認知症ケアの歩みと未来 中島紀恵子

242

---

**認知症の当事者研究とは何か**  
超高齢社会の生き方・看護・研究の共創に向けて 永田久美子

254

---

**医師の立場からみた認知症の当事者研究**  
木之下徹，水谷佳子，安田朝子，本多智子

263

---

**ドキュメント 認知症当事者研究の誕生**  
芋虫が蝶に変わるように 川村雄次

274

---

**認知症の本人と共に生きるケアの実践**  
センター方式の取り組みを中心に 櫻井記子

286

---

---

**当事者と共につくる個別ケアと地域包括ケアのダイナミックな連動** 294  
行政事務職の立場から考える 稲垣康次

---

**【座談会】認知症の当事者研究から見えてくるもの** 304  
中島紀恵子, 永田久美子, 木之下徹, 稲垣康次, 川村雄次, 櫻井記子

---

**【講演】認知症と生きる** 321  
クリスティーン・ブライデン 翻訳：馬籠久美子

---

●連載

看護における質的研究の前提と正当性・3

**ガダマーについて** 看護研究におけるその意義 家高洋 —— 336

Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑨

**区別と名づけ** 江藤裕之 —— 348

●書評

『臨床研究の道標(みちしるべ) 7つのステップで学ぶ研究デザイン』

平易だが深い。看護研究を始める前に必読の書 成田有吾 —— 333

『APAに学ぶ 看護系論文執筆のルール』看護精神あふれる論文執筆指南の書 佐藤勢紀子 —— 347

●INFORMATION —— 327

●今月の本 —— 334

●投稿規定・執筆要項 —— 355

●次号予告・編集後記 —— 356

---